

## R7.8月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
8月1日	8月7日	7日	慢性心不全の憎悪	ペースメーカー留置中 全身（顔面、体幹、手背、両下肢）浮腫あり。Dr診察聴診 心雑音著明、 採血施行 心機能BNP値4472↑↑↑ 胸部レントゲン撮影 結果：左右葉間に胸水貯留認め。慢性心不全増悪の診断。 ループ利尿剤フロセミド（20）1錠1×1 朝 内服開始。 体温38.1℃ 検尿 亜硝酸（－） 尿蛋白（＋）、潜血（－）白血球（2＋） 抗生剤 3日間投与 ピクシリン配合錠3錠3×1
8月3日	8月8日	6日	尿路感染症	KT38.7℃ 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)潜血(+)  白血球(■)  Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
8月2日	8月5日	4日	肺炎	KT39.4℃ SPO2 78% O2 3Lマスクにて Dr診察 肺炎の診断 抗菌剤、去痰剤4日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T カルボシステイン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察していたが、高熱と酸素化不良 黄色喀痰多く肺炎悪化疑いのため 病院対応となる（8/5）
8月9日	8月14日	6日	尿路感染症	KT38.3℃  検尿：亜硝酸(－)蛋白(■)潜血(－)PH7  白血球(－) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
8月22日	8月26日	5日	蜂窩織炎	右大転子部熱感、発赤あり Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生剤、胃薬5日間投与 Rp)ピクシリンS配合3T レバミピド(100)3T /3×1 経過観察へ

## R7. 9月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
9月1日	9月10日	10日	尿路感染症	バルンカテーテル内の頻回な尿詰まりあり。 腹痛（＋）パット内尿漏れあり。 検尿：亜硝酸(+)蛋白(2+)潜血(+)  白血球(2+) PH(8)  Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤10日間投与 Rp)ノフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
9月15日	9月21日	7日	尿路感染症	排尿時痛あり 淡血性尿 検尿：亜硝酸(－)蛋白(2+)糖(2+)潜血(3+) 白血球(3+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 Rp)ノフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ
9月24日	9月30日	7日	尿路感染症	KT39.8℃  検尿：亜硝酸(±)蛋白(■)潜血(■)  白血球(－) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ

R7.10月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
10月8日	10月12日	5日	右下腿蜂窩織炎	体温38.9℃ 検尿： 亜硝酸（－） 尿蛋白（－） 潜血（±） 白血球（－） 新型コロナ抗原検査（陰性） インフルエンザ抗原検査（陰性） Dr診察 右下腿軽度発赤腫脹、疼痛（＋） 蜂窩織炎の診断。 抗生剤（ペニシリン系）5日間投与 ピクシリンS配合錠 3錠 3×1 アセトアミノフェン0.4g 投与 状態改善傾向経過観察へ
10月20日	10月29日	10日	带状疱疹	右腰部に帯状の発疹あり。疼痛あり。 Dr診察にて带状疱疹の診断 抗ウイルス剤投与と軟膏塗布処置 Rp) アシクロビル(400)2T 2×1 /7日間 外) ビダラビン軟膏塗布 経過観察へ
10月29日	10月31日	3日	尿路感染症	排尿時痛あり 頻尿 検尿：亜硝酸(2+) 蛋白(－) 潜血(±) 白血球(3+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ

R7.11月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内
11月1日	11月4日	4日	尿路感染症	kT38.1℃ 検尿：亜硝酸（＋）蛋白（＋－） 糖（2+） 潜血（－） 白血球（2+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3錠/3×1 発熱時 アセトアミノフェン0.4g 頓用 経過観察へ
11月4日	11月8日	5日	蜂窩織炎	kT39.9℃ 右下肢発赤、腫脹（＋） Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生剤 5日間投与 Rp) ピクシリン配合錠3錠 レバミピド(100)3錠/3×1 解熱・鎮痛剤3日間投与 アセトアミノフェン（200）2錠/2×1 経過観察へ
11月10日	11月19日	10日	尿路感染症	KT38.2℃ 検尿 尿蛋白（＋） 亜硝酸（－） 白血球（＋） Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤 5日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3錠 レバミピド(100)3錠/3×1 発熱持続につき解熱剤7日間投与 アセトアミノフェン（200）2錠 2×1 経過観察へ
11月10日	11月19日	10日	尿路感染症	カテーテル留置中 浮遊物多く詰まりにて交換。その際シャワー(+) KT38.7℃ 検尿：亜硝酸（＋） ケトン体（2+） 尿蛋白（3+） 潜血（＋） 白血球（2+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤 当面継続処方 Rp) ノルフロキサシン(100) 3錠3×1 解熱傾向となり経過観察へ
11月6日	11月15日	10日	带状疱疹	右背部、右前胸部、右上肢発疹（＋） 右半身疼痛（＋） Dr診察にて、带状疱疹の診断 抗ウイルス剤投与と軟膏塗布処置 Rp) アシクロビル(400)2T 2×1 /7日間 外) ビダラビン軟膏塗布 経過観察へ
11月6日	11月10日	5日	蜂窩織炎	KT38.4℃ 右大腿部発赤、腫脹あり Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生剤内服処方 Rp) ピクシリンS配合錠(250)3T3×1 5日間 発熱時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ